

# 令和5年度 子ども大学きたもと

## 1. 実施体制

子ども大学きたもと	学長	神子 修一（北本市教育委員会教育長）
	副学長	
子ども大学〇〇実行委員会	実行委員長	
	実行委員 （関係団体）	

## 2. 事業内容

開催回数	4回	開催期間	令和5年8月1日～令和5年8月22日			
参加者数	30名	内訳	小学4年生	2名		
			小学5年生	16名		
			小学6年生	12名		

### 3. 実施内容

1 日目	開催日時	8月1日（火）	
		9：15～11：45	
生き方学	会場	北本市文化センター 第1・2会議室	<p style="text-align: center;">子ども大学きたもと入学式</p>
	講義名	（子ども大学きたもと入学式） 仲間づくりゲームに挑戦しよう！	
	講師	武蔵丘短期大学 福島邦男 教授	
2 日目	開催日時	8月8日（火）	
		9：15～11：45	
ふるさと学	会場	サンアメニティ北本キャンプフィールド 体験学習室	<p style="text-align: center;">竹で水てっぽう作り</p>
	講義名	暑さを吹き飛ばせ！ 竹で水てっぽう作り	
	講師	株式会社サンアメニティ社員	

### 3. 実施内容

3 日目	開催日時	8月17日（木）	
		9：15～12：45	
ふるさと学	会場	サンアメニティ北本キャンプフィールド 多目的ホール、デイキャンプ	
	講義名	北本トマトカレーを作ろう	
	講師	北本トマトカレーの会会員	
			北本トマトカレー作り
4 日目	開催日時	8月22日（火）	
		9：15～11：45	
ふるさと学	会場	北本市文化センター 第1・2会議室	
	講義名	君も未来の考古学者 （子ども大学きたもと終了式）	
	講師	北本市文化財保護課職員	
			縄文式土器の観察

## 4. 参加者の声

参加した子供の声 (感想)	<ul style="list-style-type: none"><li>・年れいや学年・学校がちがう子がたくさんいて友達ができそうもなかったが、仲間づくりゲームをし、みんなとなかを深め、最後にはみんな笑顔であふれ面白かったです。</li><li>・1日目の先生の、「できるか分からないけど、やってみよう」という発言が心に残った。チャレンジする勇気をもらえる。</li><li>・はじめてきて、とても楽しかった。新しいともだちもできたし、いろいろなものをさわったり見たりできて、とてもうれしかった。</li><li>・水てっぽうでは、いろいろな先生からのアドバイスをもらい、かんせいしたと思います。わたしはこの学習で、しっばいしてもあきらめないことがだいじだと思いました。</li><li>・竹とささのちがいや、間ばつした竹をどう使うか、班で話し合ったとき、自分じゃ思いつかない案がでて面白かった。</li><li>・この学習で、わたしはなかまや、ともだちがつくれたとおもっています。とてもよかったと思います。カレーでは、わかんないことがいっきにひらけたと思います。たとえば火おこし、ごはんのたきかた、カレーはつくるのがたいへんだと。このことによってわたしはすこし北本トマトカレーがわかったような気がします。ともだちとなかよくできてよかったとおもいます。</li><li>・わたしは、しょう来のゆめが考古学者です。きょう学んだ発くつ調さの、地面のほりかた地そうの見かた、考古学者に必要な勉強などを学びました。</li><li>・すみでいしのもようをうつしとって、もようがみえて楽しかったです。いせきや発くつのべんきょうをして、よくわかりました。</li></ul>
保護者の声 (感想)	<ul style="list-style-type: none"><li>・毎回「楽しかった！」と笑顔で帰ってくるので、参加させて本当によかったと思います。</li><li>・習い事や学校では学べないところを、体験出来たのがよかった。</li><li>・皆で協力しながら、北本トマトカレーを作ったりできて良かったです。他の学校学年の子たちとの交流も、体験できて、いい経験でした。</li><li>・1日でなく連続講座だったことが、他の学校の子ともと交流を深める事でき、とても良かったです。ぜひ来年も参加させていただきたいです。ありがとうございました。</li><li>・どのプログラムも、「考えてやってみる」になっていて、内容も楽しめるものだったと思いました。特に発掘調査や研究は、普段体験することが難しいので、親も参加してみたいくらいでした。</li><li>・3日目の北本トマトカレー作りの後に、北本トマトカレーと認められる条件があることなど、詳しく教えてくれました。北本トマトカレーを食べたことはありましたが、そこまで詳しく知らなかったなので、私はもちろん子どもが自分の住むまちの特色を知ることができ、興味を持てたことが何よりだと思いました。</li></ul>